

2013.09.10

「祝 東京五輪誘致」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。今日は9月10日火曜日です。

国会は10月15日から開く予定ですが、先日、日本が2020年のオリンピック東京招致が決まったというニュースで、日本中が歓喜致しました。オリンピック東京招致は、安倍内閣はチームジャパンということで、IOCに働きかけを行い、チームジャパンで勝ち取ったものだと思います。安倍政権になってから、これからの日本に対し、国民は大きな希望の一つの事業となるオリンピックやデフレ脱却など、これから日本に良いことが起きるだろうという期待が高まっています。これは安倍総理のお力だけでなく、運も味方しているように思えます。しかし、その背景には、6年前に謂れ無きバッシングを受け、総理の職から降りざるを得なかった時の悔しさから、一回りも二回りも大きくなり、色々な政治的な活動に自信を持ってされています。何れに致しましても、オリンピック東京招致に関しまして、「安倍総理、ご苦労様でした。」と申し上げたいと思います。そこで私は、折角オリンピック東京招致が決まり、これを契機に日本がもう一度、国民が希望や期待が持てる方向に世論を引っ張っていかねければなりません。また、政策誘導を必要だと思います。オリンピックが東京で行われた昭和39年、この時、私は幼稚園で年長組だったと思いますが、明確に今でも覚えています。オリンピックの聖火台に聖火が灯り、ファンファーレ

が鳴り響き、本当に素晴らしい感動を幼心に覚えたことを思い出します。当時は、オリンピックが東京で行われるということで、首都高速道路、新幹線、名神高速道路などの新しい都市計画が、戦後の復興の中で行われてきました。それが一つのオリンピックでの大きな目標となりました。そして、昭和 45 年に大阪で行われた万国博覧会では、関西圏の街作りを行い、東京と大阪でこのような大きな事業が立て続けに行われました。これにより、日本は一挙に経済成長することができるようになりました。それから 40 年、50 年経ち、平成になってからの 20 年は、国民が胸を躍らせる夢や希望というものをなかなか見せることが出来ませんでした。むしろ、世の中は「もう、これ以上日本は成長する必要がなく、地味で大人しく生きていく方がいいんだ。」とバブルの反動から出てきたことも事実です。私は成長一本だけで良いとは思っていませんが、この 20 年、あまりにも成長に対して否定的なことをやり過ぎたため、デフレになってしまいました。そして、国民皆が俯いて、自信喪失になっています。そういったことを考えますと、今回オリンピック東京招致を行うことができたのですから、これを利用して、もう一度日本人が元気の出るような、総合的な政策を安倍総理の下でして頂きたいと思います。その一つが、昭和 39 年の東京オリンピックと同じように、インフラの整備だと思うのですが、その目玉がリニア新幹線だと思います。このリニア新幹線は JR 東海が行うことになっていますが、私は国土軸を作る話というのは、一民間企業が行うことではなく、

正に国家が、国家戦略として行うべきだと思います。特に東京と大阪の国土軸は、日本の一番大事な柱になっていますが、これが東海道新幹線、東名・名神高速道路を含め、太平洋側の地震や津波に一番弱い地帯を走っています。しかし、リニア新幹線は大深度地下を通っていきますので、地震などには非常に強いと言われています。そして、名古屋と東京の間をとりあえず結ぶと言われていますが、これを一举に大阪まで結んで頂きたいです。そして、それは新大阪駅だけでなく、その先の関西空港まで結び、また、東京駅だけでなく、成田空港まで結ぶように、空港と空港を結ぶような戦略をして頂きたいと思います。

このリニア新幹線ができれば、東京と大阪間の飛行機の路線は無くなります。成田空港と関西空港を結ぶと、この二つの空港を同時使うことが出来ます。そして、東京オリンピックでたくさんの外国人の方々を呼ぶと言っても、なかなか今の発着では、成田空港と羽田空港では賄いきれません。これから、その整備を行わなければなりませんが、成田空港と関西空港を繋ぎますと、関西空港に来て頂き、そこからリニア新幹線を使えば、1時間で東京に行きます。そして、その間に中部国際空港もありますので、そこから東京までは30分で行きます。

つまり、リニア新幹線が走る区間にある国際空港が、全部一直線上で、殆どの移動は数十分単位で使うことができます。これは非常に大きな経済効果をもたらします。それだけではなく、伊丹空港は国内線の空港で残っていますが、こ

こは廃港にできます。しかし、ここを廃港するだけではなく、伊丹空港の周りは交通の要衝ですので、東京がもしもの時に、大阪がバックアップできるようにするための用地として、これ程重要な地域はありません。関西空港をリニア新幹線で結ぶことにより、こういったことも可能になります。以上のことを含め、これからの日本はこういう投資をしていくことで、様々な地域で活力が出て、特に東海道新幹線は、リニア新幹線が出来てしまいますと、「こだま」中心で走れば良い訳です。そうしますと、地域間の交流が非常に早くなります。今までの「こだま」は1時間に1本程度しか走らない、そして、「のぞみ」や「ひかり」優先ですので、待ち時間が長いんですが、これが一挙に短くなり、これまで以上に活力が出てきます。そういったことを含め、こうした投資を政府がしっかり行うことで、日本はまた活力をもたらします。そして、それをオリンピックと合わせて行っていこうではないか、ということです。私は是非、そういった政策を行って頂き、提案していきたいと思います。これこそ、アベノミクスが一番目指すべき、成長路線の核になるべきだと思います。安倍総理が誕生いたしましてから、世の中の空気が随分変わってきました。オリンピック招致もでき、国民全体の顔つきも、笑顔が溢れるようになったと思います。おそらく民主党政権では、このオリンピック招致は出来なかっただろうし、現に鳩山政権の時には、実際に失敗しています。このオリンピック誘致を契機に、東京だけに経済効果などの様々な恩恵があるのではなく、日本全体が良くなる

ように

やっていかなければなりません。そして、最後に申し上げたいことは、このオリンピック東京招致の一番の問題は、福島原発の事故対応の問題ですが、この汚染水はコントロール化に置かれているということを安倍総理は仰いました。その意味は、これからは東電任せではなく、政府がしっかりやっていくということだと思います。民主党政権下では、東電を攻めるだけで政府が動きませんでした。これからは政府が全面に出て、福島の復興、汚染水の話なども含め、行っていきます。そうでなければ、この東京オリンピックを皆が祝うことができなくなります。「日本全体でこのオリンピックを成功させていこう。」という気運が出てくるように我々も頑張っていきたいと思います。

本日も御覧頂きありがとうございました。